

展示内容のご案内

新開発の高反応性ナノサイズ磁気ビーズである Sepa-Max® の応用例のご紹介

<抗体精製工程への応用>

新開発したプロテイン A 固定磁性粒子 Sepa-Max® Protein A（未発売）は市販のプロテイン A 固定磁性粒子に比べて抗体吸着容量、反応速度、特異性の高さ、拡散性の面で優位性がある。更に、これらの特徴を活かして、抗体精製におけるカラムクロマトグラフィーの処理時間の長さや多検体処理の課題を克服できる可能性があるため、各種抗体生産用培地からの抗体精製に関するデータを取得した。

※展示ブースにてサンプルモニターを募集します。

<免疫磁気ビーズへの応用>

市販の免疫磁気ビーズは、食品から腸管出血性大腸菌（0157, 026, 0111）を濃縮する際、脂肪成分の影響で磁気ビーズの回収量が低下する。Sepa-Max® 免疫磁気ビーズは、磁気ビーズの磁気分離能が優れていることから高脂肪の食肉検体でも問題なく磁気分離が可能である。また、反応速度が高いことから従来の免疫磁気ビーズ法の操作時間を大幅に短縮することが可能である。

皆様のご来場をお待ちしております。